

次期中間処理施設整備事業の用地選定に関する意見書

平成25年9月20日提出

印西市木刈在住者

CNT中央地区（印西クリーンセンター近隣地域）の大気汚染についての意見書

私はCNT中央地区に30年近く住む住民として、急速に悪化する大気汚染を心配する立場から次の参考意見を申し述べます。参考にして頂ければ幸いです。

【現状の問題点】

1. 印クリがH12年度に行った3地点（①地上(最大着地濃度地点)、②竹中工務店屋上、③三井海上ビル屋上）の予測では、環境省の基準値(環境保全目標)を上回っている。
(SO₂、NO₂、浮遊状粒子物質、塩化水素等。)・印西地区ごみ処理基本計画H12年版参照
2. 大気汚染測定は千葉県による高花地区の一箇所のみ。印クリ環境委員会は排煙の排出基準値の達成状況を公表しているが、周辺地域の大気汚染測定は行なわれていない。(先般見学したふじみ衛生組合では周辺数箇所測定実施。)
3. 焼却場からの二酸化炭素発生量は53,000 m³/日(車換算で21,000台相当:燃費10 km/l 20 km/日走行)と膨大である。更に大型店の進出で急増する車の排ガスが重なって、周辺地区の大気汚染は急激に悪化し周辺住民からも不安の声が出ている。
(印西市環境白書 H24年版)
4. 印クリの煙突高は周辺の超高層ビルに較べて低く(59m)、煙が拡散し難い状態。
(ダウンドラフト防止のための高さ ≥ 2.5 倍周辺建物高)
二酸化炭素は空気より重くて拡散しにくい。煙がダウンウォッシュ状態となるとビルの谷間などに滞留して、建物内の基準目標値1,000 ppm(厚生労働省値)を超えている恐れがある。

【要望事項】

現状には以上のような諸問題点があり、更に過去2回集められた住民署名(H22年1月14日3,547通とH24年2月10日4,417通)でも大気汚染を心配する住民が多いことは明らかであることから、これらのことによく留意し用地選定を進めていただくよう切に要望いたします。

以上